

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	稲沢市役所			代表者名	加藤錠司郎
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総合政策部デジタル推進課	連絡先電話番号	0587-32-1142
担当者役職	主査	担当者氏名	鈴木香里奈	連絡先E-mail	
住所	492-8269 愛知県稲沢市稲府町1番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	デジタル人材育成事業
概要	市長、副市長を始めとする幹部職員向けのDX機運醸成に関する研修及び一般職員に対するDX機運醸成に関する研修並びにアドバイザーとの意見交換		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年10月21日	講演(実地)	8時30分	17時00分	60
				活動時間（分）	450
2-2. 派遣場所	会場名	稲沢市役所		最寄駅	名鉄国府宮駅
	所在地	愛知県稲沢市稲府町1番地		最寄駅からの交通手段	市コミュニティバス

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	長尾 飛鳥	
評価	大変良い	
上記評価の理由 （どのようなところがよかったか等詳細に）	幹部職員及び一般職員向けの講演会等を実施しました。事前打合せで当市の課題等を聞き取るだけでなく、当日の研修直前に庁舎内を回り、アドバイザー自身が一日稲沢市の職員になりきりジブンゴトとして課題を考え受講者に対して「変革人材」になるための機運醸成となる講演を実施していただきました。	
アドバイザーへの要望事項	今後も継続的にご支援いただけると幸いです。	

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	69人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	69		その他(学生など)

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	市ではDX推進計画を作成し、自治体DXの推進に取り組んでいるものの、組織全体としてDXに対する理解や関心がまだ十分に浸透していない。 また、DXを自分ごととして捉えにくい、あるいは必要性が理解されにくい現状があるため、意識改革を図る必要性があると考えている。 このような現状からDXに対する職員の理解不足や住民ニーズに即したDXの視点が不足しているため、アドバイザー派遣によりDXの本質的な理解と推進力の向上を目指していきたいと考えています。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	幹部職員向け研修については、DX機運醸成に関する講演をお願いし、DXに対する意識を深めて欲しい。 一般職員向け研修については、DXを自分ごととして捉えられるようアドバイザーの実体験等、知見を活かした研修と業務に関する悩みや進め方に関する相談事項を話し合いできる場を設けてアドバイザーと意見交換をし、DXをジブングトとして推進して欲しい。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	幹部職員及び一般職員向けの講演会等を実施しました。事前打合せで当市の課題等を聞き取るだけでなく、当日の研修直前に庁舎内を回り、アドバイザー自身が一日稲沢市の職員になりきりジブンゴトとして課題を考え受講者に対して「変革人材」になるための機運醸成となる講演を実施していただきました。また、生成AIの活用について具体的な活用事例をご紹介いただきました。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	DXへの理解を深めることができ、課題解決の糸口を見出すことができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない意識改革やDX推進の向上は継続的に実施するものであり具体的な成果物はありません。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	一般職員向け研修について、日程等の都合により、自治体の未来像を話し合うグループワークが未実施となった。そのため、次年度はグループワークによる研修の支援をいただく予定です。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 研修について「非常に有意義だった」「有意義だった」の回答や研修を受講してDXや業務改善に対する意識の変化について「大きく変化した」「変化した」との回答が100%であり、研修が受講者にとって有意義なものであったということがわかった。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある 引き続き地域情報化アドバイザー制度を活用し、DXに関する課題解決に向けた取り組みを実施する予定です。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	本支援を通じて、庁内にDX推進の機運が醸成され、職員が業務改善やサービス向上に主体的に取り組めるようになることで、住民にとってより迅速・的確・丁寧な行政サービスの提供を受けることが見込まれる。また、庁内業務が効率化されることで、職員が住民と向き合う時間や企画立案等に充てる余裕が生まれ、よりニーズに即した施策が実現できる職員への意識醸成。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	☐ 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他＞を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

